

児童の自己有用感が高まる学級活動の工夫

—学級目標の実現を目指した個人のめあての振り返りと、互いを認め合う「ONE TEAMカード」の活用を通して—

特別研修員 特別活動 千木良 昌計(小学校教諭)

【目指す児童像】 互いを認め合い、自己有用感を高める児童

友達や先生からのエール



「ONE TEAMカード」にエールを記入

- 努力や貢献を認め合うことができる。
- 自分の役割を果たし、友達に喜んでもらえることで自信をもてる。
- 友達や先生に認めてもらえることで毎日の生活を意欲的に過ごせる。

学級目標の実現

「ONE TEAMの木」



自分たちのがんばりを星の数で評価

★自分の頑張りを振り返るとともに、互いの努力や貢献を認め、称賛し合う★

- 互いの頑張りを認め合える。
- エールを伝え合える。
- 今後の学校生活に意欲をもてる。

手立て①

学級活動の時間における、学級目標の実現を目指した個人のめあての振り返り

クラスのみならず「ONE TEAM」でチャレンジすることができた。

学級目標の達成に向けて協力することができた。

困っている子がいたら、アドバイスを伝えることができた。

年間を通した手立ての積み重ね

【実践】
運動会の振り返り

学校行事

学級活動

手立て②

互いの努力や貢献を認め合う「ONE TEAMカード」を活用した活動の設定

ONE TEAMカード
がんばった運動会
～運動会をふり返ろう～

1. 運動会に向けて頑張ったこと、がんばった理由を振り返る。

1. みんなでがんばったこと、がんばった理由	2. みんなでがんばったこと、がんばった理由	3. みんなでがんばったこと、がんばった理由
------------------------	------------------------	------------------------

2. 自分やONE TEAMの頑張りを振り返る。

☆☆☆☆☆☆☆☆

3. みんなでエールを伝える。

4. 学級目標達成のために、これから自分に何が期待されているかを振り返る。

5. これからの学校生活の個人目標を定める。

6. みんなでエール！ ONE TEAM

7. みんなでエール！ ONE TEAM

8. 今日、学級目標を達成した。

9. 自分やONE TEAMの頑張りを振り返る。

10. 学級目標達成のために、これから自分に何が期待されているかを振り返る。

11. みんなでエールを伝える！ ONE TEAM

12. みんなでエールを伝える！ ONE TEAM

13. 学級目標達成のために、これから自分に何が期待されているかを振り返る。

学級目標を達成するために、友達と協力することを意識しながら、一人一人がめあてをもって意欲的に学校生活を送ってほしい。

友達との関わりを増やす中で、互いを認め合い、友達と心がつながる過程を大切にしてほしい。

【教師の願い】 望ましい人間関係を築き、自己有用感を高めてほしい。

【児童の実態】 ・十分な自己有用感をもって、学校生活を送れている児童が少ない。
・友達との関わりが消極的。 ・意見を発表することやコミュニケーションを図ることが苦手。

成果

- 実践で、自分の頑張りを振り返ったり、互いに「ONE TEAMカード」でエールを伝え合ったりすることで達成感、充実感を味わうことができ、自己有用感の向上につながった。
- 年間を通して手立てを重ねることで日々の児童同士の関わりも増し、コミュニケーションをとったり、思いやりの言葉をかけたりできるようになった。

課題

○「ONE TEAMカード」において、児童の記述する内容が多くなり、書く活動の時間が長くなった。「ONE TEAMカード」に記載されている内容の個人の振り返りや友達からのエール、個人の意思決定の時間を2時間に分けて実施することも考えられる。